

植村正久 キリスト教指導者。教会を足場に、伝道者の養成、神学研究、外国ミッションからの独立を断行した。

うえむらまさひさ

五ヶ国条約・1858 = 上総国山辺郡謝田村(東金市)で、1500石の旗本の長男に生まれる。

桜田門外変・1860 = 2歳 :

大政奉還・1867 = **9歳** : 大政奉還とともに一家が没落して、一旦帰農した後、
明治維新・1868 = 10歳 : 再興を期して、横浜に出て薪炭商を営むようになるとともに、
英語の勉強をさせられ、

学問のすすめ1872 = 14歳 : アメリカ改革教会の宣教師バラーの塾に学ぶうち、牧師たるべく決意し、
明治6年政変 1873 = 15歳 : 受洗するとともに、ブラウンの学塾で神学の勉強を開始、

三つの反乱・1876 = **18歳** :
西南戦争・1877 = 19歳 : 合同によって設立された日本基督一致教会に移り、伝道を開始。

..... 1880 = 22歳 : *按手礼を受けて下谷一致教会の正牧師となる。小崎弘道らと東京青年会の結成に尽力し、その機関紙{六合雑誌}を創刊して編集にあたり、

明治14年政変 1881 = 23歳 :
岩倉具視没・1883 = 25歳 : 一旦辞任。{東京毎週新報}の創刊にも参加。
秩父事件・1884 = 26歳 : 「**真理一班**」では新移民の思想である唯物論・進化論・不可知論と対決し、
内閣発足・1885 = **27歳** : 続けて「福音道志流部」を刊行するなど、華々しい活躍をみせ、
その後、主な関心は社会問題から教会の形成に向かい、
国民之友始・1887 = 29歳 : 番町一致教会などを経て、富士見町教会を建て、以後、終生その牧師をつとめる。

帝国憲法発布 1889 = 31歳 :
帝国議会始・1890 = 32歳 : *{日本評論}{福音週報}を同時刊行して、一致教会を代表する指導者となった。
足尾鉞毒始・1891 = 33歳 : 日本基督一致教会が日本基督教会と改称するに当たり、信条を改正。内村鑑三不敬事件で政府を批判し、{福音週報}が発禁となる。

日清戦争始・1894 = **36歳** : 伝道局を独立させて、日本における伝道体制を確立し、
正統主義信仰の立場に立って、新神学(自由主義神学)、国粹主義思想と対決し、また、伝道者の養成、神学研究、教会の外国ミッションからの独立を断行。

田中正造直訴1901 = 43歳 : 海老名弾正と論戦後、日露戦争に対しては内村鑑三の非戦論を批判して自衛戦争の必要性を説き、小崎弘道・海老名らとともに主戦論を主張。

日比谷公園・1903 = **45歳** :
日露戦争始・1904 = 46歳 : *東京神学社を創立、校長として有力な伝道者を養成し、福音を日本に根づかせるために心血をそそぐ。
日露戦争終・1905 = 47歳 : 教会の経済的自立においても、指導力を発揮。

明治天皇没・1912 = **54歳** : 西園寺内閣の「三教合同」政策でも批判的態度をとり、
次第に政府よりになるが、植民地対策にはあき足らず、台湾・朝鮮・満州の伝道に関心を寄せ、

原敬首相暗殺1921 = **63歳** :
関東大震災・1923 = 65歳 : *関東大震災後の教会復興に尽力するうち、
治安維持法・1925 = 67歳 : 没した。